


令和5年5月24日

鳥取県知事定例記者会見

小児医療費の完全無償化(令和6年4月～)

県・市町村行政懇談会(5/18)において、令和6年4月から小児医療費を完全無償化することについて、**県と全市町村が合意したことから、6月議会に特別医療費助成条例の改正案を提案**

助成対象者	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者
所得制限	なし
患者負担額	■入院 1,200円/日 ■通院 530円/日  無償
県・市町村負担割合	県1/2、市町村1/2(市町村が患者の自己負担分に助成した金額に対し、県がその助成金額の1/2を補助)
開始時期	令和6年4月

※国は令和5年3月31日に公表した「こども・子育て政策の強化について(試案)」において、子ども医療費助成に関する国民健康保険国庫負担金の減額調整措置を廃止する方針を示した。

■市町村の主な意見

- コンビニ受診の増加が懸念され、小児科医不足に拍車がかかるので、無償化に消極。
⇒ 小児医療体制拡充検討で完全無償化を了解。
- 小児医療に対する負荷をかけすぎないようにリスク回避について研究してほしい。
- 無償化は全県一斉スタートとしてほしい。
- 開始時期を決めていただくと市町村としては準備に取り組みやすい。
- 小児医療費無償化とは別の制度も適用される場合、他制度優先を徹底してほしい。

小児医療費完全無償化に伴う課題への対応

検討課題	対応方針
○小児医療体制の確保	○診療所開設支援、働き方改革の推進、奨学金による医師確保、市町村における小児科医の共同雇用
○コンビニ受診、ドクターショッピング等による小児医療への負荷	○県民への適正受診や子ども救急ダイヤル(#8000)を呼び掛け
○他制度を優先して適用	○スポーツ災害共済給付、小児慢性特定疾病医療費助成、自立支援医療等の優先適用を、医療機関、学校等に対し周知徹底
○手続の簡略化	○手続の簡略化に向けて検討

⇒庁内のワーキンググループを立ち上げ、解決に向けた検討を開始

5/24 13時40分～ 医師会、歯科医師会、薬剤師会等も参画

5/22 第4回こども未来戦略会議

【総理の締め括り発言】

大前提として、少子化対策財源確保のための消費税を含めた新たな税負担については考えていない。

- ① 徹底した歳出改革による財源確保
- ② 歳出改革の徹底等により、国民の実質的な負担を最大限抑制
- ③ 経済活性化、経済成長への取組を先行
- ④ 2030年までの少子化対策のラストチャンスを見逃さない。歳出改革の積み上げ等や、賃上げ・投資促進等の取組には複数年を要するが、強化された少子化対策は、それを待つことなく、前倒しで速やかに実行に移す。

⇒次回6/1の会議で、「次元の異なる少子化対策」を実行に移していく「こども未来戦略方針」の素案を示す

6月補正予算の編成状況

～危機を突破し、新たな歴史を鳥取から～

予算規模 **350** 億円程度
(肉付け予算としては過去最大規模)

物価高騰等緊急対策

※県議会に
先議を依頼

- ◆ LPガス契約者・特別高圧電力利用事業者への料金高騰支援
- ◆ クリーニング業燃料費高騰支援 (最大5万円/事業者)
- ◆ 医療・社会福祉・保育施設等への光熱費高騰支援 (約3,900施設)
- ◆ 売上・粗利減少企業の投資支援予算枠拡大 (10億円)・9月末まで延長

健康・安心

- ◆ 鳥取県感染症対策センター (鳥取県版CDC) の設置
- ◆ 認知症を含む包括的な「鳥取県版フレイル対策」、更年期障がい専門相談窓口設置
- ◆ 防災・減災のための事前伐採・倒木緊急除去
- ◆ 防災情報ポータルサイト構築、災害時の迅速操作可能な「**樋門の電動化**」など防災DX

ふるさとの元気

- ◆ 閑散期の**宿泊割引** (最大20%) ※宿泊料に応じて1,000円又は2,000円割引
- ◆ **鳥取県産業未来共創基金**を新設し、企業の設備投資・人材育成を強力に支援
- ◆ **鳥取砂丘月面実証フィールド**の運用開始
- ◆ **メタバース空間**による**新たな鳥取コミュニティ**を通じた若者移住促進

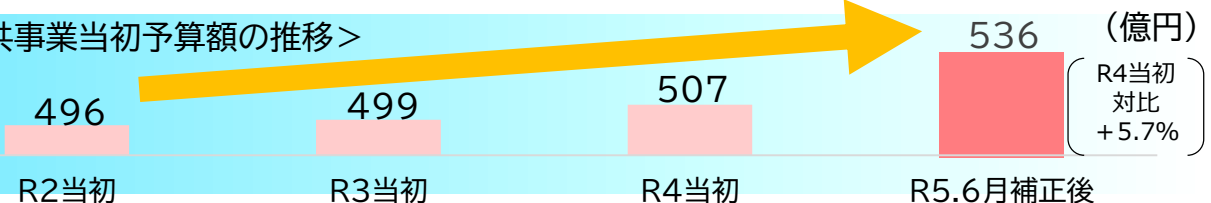
人・暮らし

- ◆ 全国初! 県全域で18歳までの**医療費完全無償化**に向けシステム改修
- ◆ 潜在保育士の**就職奨励金制度**創設 (10万円)
- ◆ **縁結びナビゲーター (ボランティア仲人)**への**成婚謝礼金**創設 (10万円)
- ◆ 手話言語条例10周年「**とっとり手話フェス**」の開催

<公共事業> 204億円 (R5当初予算も含め**536**億円)

地域高規格道路の整備進捗、新規路線の着手に向けた計画策定など公共予算増加

<公共事業当初予算額の推移>



とっとり若者活躍推進

県庁「とっとり未来創造タスクフォース」

組織改正

専任の若手職員 6 名により構成

- 政策戦略の要として、政策戦略本部内に設置し、各個別部局からは独立して活動

「子育て」「移住・定住」など県政に若者視点を注入する新しい政策エンジン機能に

- 子育て、移住・定住をはじめ県政各分野に若者視点で政策立案
- 県・市町村、官民の枠組みを超えた施策検討
- 既存の県施策・事業のサーベイランス、必要に応じスクラップ検討（県庁改革プロジェクトチームとも連動）

予算は、知事への直接要求・一発査定
副知事・統轄監・本部長が直接サポート

県庁中核人材育成塾

若手職員に知識・経験・技術の伝達、政策形成能力向上へ

- 【塾長】知事、【筆頭講師】副知事、【講師】関係部局長・課長・民間講師
- <カリキュラム例> 政策判断ロジック、県庁叡智注入講義、E B P M・ファシリテーション力講座 等
- 受講生募集（予定）：～6月、実施時期：7月～R6.3月（第1期）

常時
連携

「とっとり若者活躍局」

6月補正：1千万円
※活動の展開にあわせて随時追加検討

「鳥取をもっと元気になりたい！」 情熱とエネルギーあふれる若者を任命

- 高校生～40歳未満、15名程度でスタート

鳥取の若者の象徴的存在(アイコン) として、若者目線で幅広く活動

- 地域・暮らしの魅力の「若者目線での」発掘・「若者に刺さる」発信
- 地域の若者の声を聴いて届けて
- 若者の未来をつくる「出会い」「子育て」「移住」等プラン&アクション

県庁をあげて予算・事業で具現化
今夏スタート ➡ 活動方針決定・事業立案・活動

予算成立後
メンバー募集開始

「我こそは」、「うちの面白い若手こそは」という方々、ぜひお声がけください！

若者活躍応援プロジェクト

若者や若い世代をターゲットに活躍を応援する事業を積極的に展開

- 「とっとりクリエイターズ・ビレッジ」によるコンテンツ人材の移住
- 鳥取型「幼稚園留学」による新たなファミリーワーケーション
- ヨソモノ・ワカモノと県内若者とのコラボによるアイデアソン・実践 等

令和5年7月組織編制

地域が直面する経済・生活等の困難を突破すべく、地域の活力を再生し、「輝くふるさと鳥取」に向けたチャレンジを展開していくため、県庁の組織を改正

① 重要政策推進のための体制整備

「政策戦略本部」と「輝く鳥取創造本部」の2本部体制で施策を推進

- ・県政推進に向けた総合調整を担うエンジン部局として、政策調整機能や情報発信を集約した「政策戦略本部」を設置
⇒ 政策戦略の要として、若手職員による「とっとり未来創造タスクフォース」を設置し、喫緊の課題を検討・事業化
本部内に政策戦略局、デジタル局や財政課を配置し、機動力と実行力を併せもった組織を構築
- ・地域が直面する経済・生活等の困難を突破すべく、地域の活力再生に向けて「輝く鳥取創造本部」を設置
⇒ 買物環境確保等を所掌する中山間・地域振興局、インバウンドや万博対応を所掌する観光交流局を設置

② 自然共生社会の推進

- ・自然共生社会や環境保全の推進に向けて生活環境部に「自然共生社会局」を設置
⇒ 自然共生サイトの設定、世界ジオパーク完全再認定、廃棄物削減の推進、下水道の広域化などに対応

③ 総合的な土木インフラの整備促進・維持管理の推進

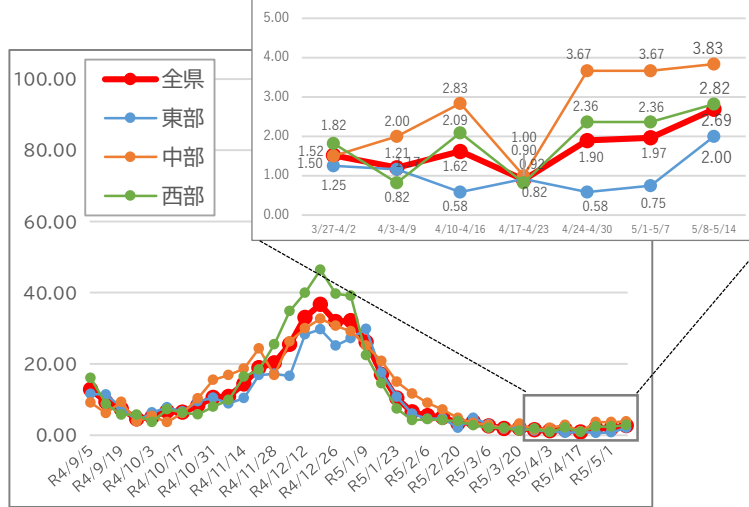
- ・土木インフラの整備促進や適切な維持管理推進のため、県土整備部内に「道路局」「河川港湾局」を設置

各種データから見た直近の新型コロナの流行動向

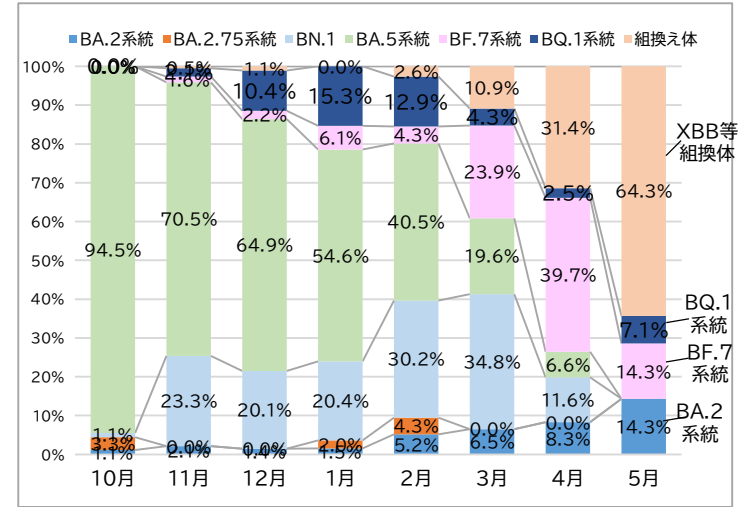
～感染増加傾向が続く～

- **新規陽性者数(定点報告)は、県内全域で、2週間連続で増加傾向**
- **変異株は組換え体(特にXBB.1.9.1)の増加が顕著**
- **学校等の欠席者がわずかに増加しているが、その他のモニタリング指標は、概ね横ばい**

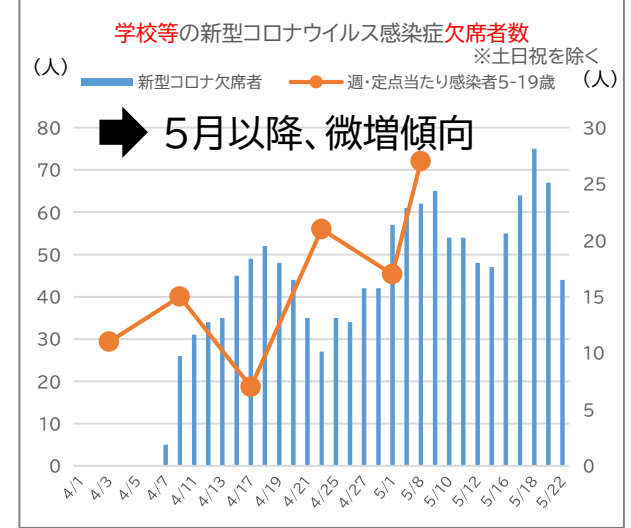
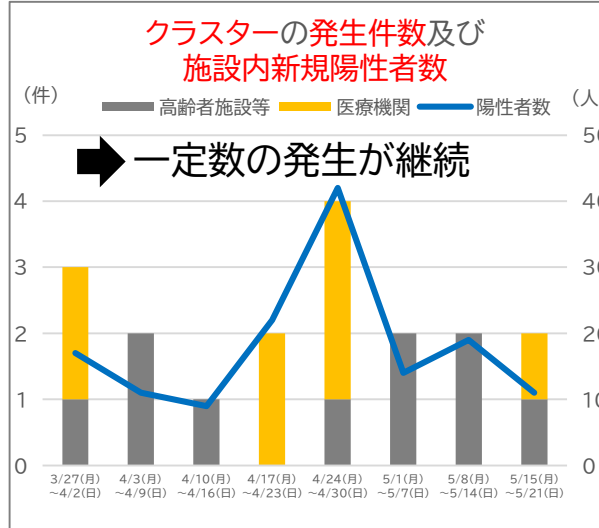
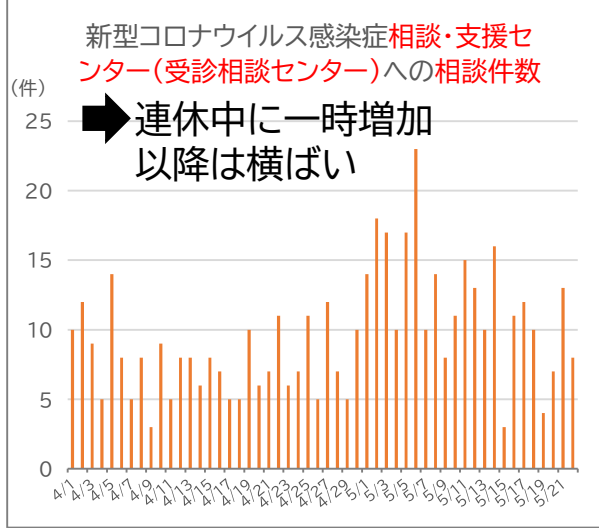
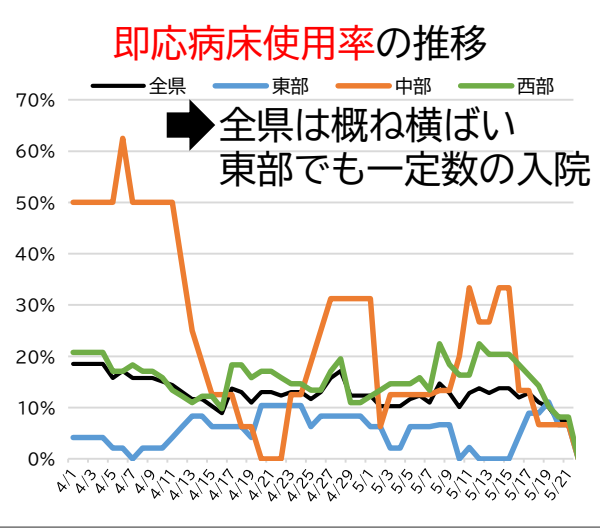
<新規陽性者数(週・定点当たり)の推移>



<ゲノム解析結果の推移>



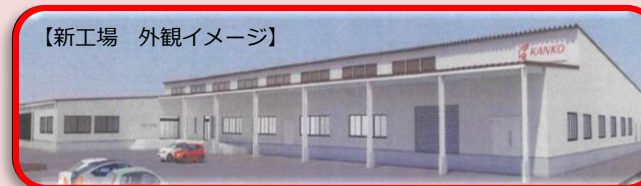
<各種モニタリング指標(随時項目)の推移>



- **麻疹: 海外からの輸入症例を契機とした感染事例が茨城県、東京都等で確認→予防にはワクチン接種が効果的**
- **感染性胃腸炎: 県内では過去5年間と比較し高いレベル→消毒・手洗いの徹底で予防**
- **インフルエンザ: 他県の学校で大規模な集団感染事例。県内でも保育所・こども園で集団感染事例→基本的な感染対策が重要**

多様な学生服のニーズ等に対応するため、 米子市内で生産体制を強化!!

- ◆ 現米子工場の隣接地に工場を新設、生産設備を導入し、
ブレザーやスラックス等の生産ラインを新設
- ◆ 同時に全従業員にタブレット端末を導入し、
スマートファクトリーの実現を目指す
- ◆ 新工場では、50名規模の雇用を確保予定
⇒ 県は産業成長応援補助金で支援



新工場の概要

・現米子工場隣接地 ・令和5年12月着工、令和6年10月竣工 ・約23億円 (土地・建物・機械装置等) ・50名規模の新規雇用を予定

香港航空による連続インバウンドチャーターが7～8月に就航決定！

- 7月18日～8月20日（15往復[日、火、木]）
- 香港国際空港～米子鬼太郎空港
- 香港航空（催行旅行社：EGLツアーズ、機材：A320-200[174人乗り]）



出水期への備え

水害に備えた河川整備

■ 支川はん濫等への対応強化

- ・西大路排水機場(県)【R4 2.7m³/s⇒R5 4.7m³/s(+2.0m³/s)】、吉成ポンプ場(市)【R4 3.0m³/s⇒R5 6.0m³/s(+3.0m³/s)】等、大路人沿いの排水機場の全整備が完了

西大路排水機場

ポンプ設備増設

既存2.7⇒4.7 m³/s
に増強

出水時は本川の
大路人へ排水

- 河川の流下能力の向上 ⇒ 要対策箇所668箇所中、
・樹木伐採・河道掘削の実施 637箇所着手済(昨年比+65箇所)

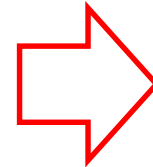


藤屋川
(伯耆町)

■ 河川施設の操作の効率化・安全性の向上

- ・河川版DX(樋門等の電動化)の推進
⇒ 県管理樋門160基について令和4年度から電動化に着手
手動(ハンドル)式の樋門 電気ドリル式の開閉

R4末までに17箇所で設置済み、令和7年度までに全160箇所を整備予定



「迅速・楽な操作が可能になった！」
樋門操作員からも好評！

■ 台風等への対応

- ・水位情報等の発信(カメラ・水位計) ⇒ 水位計166箇所整備済
- ・排水ポンプ車(東部地区)の追加配備
- ・治水協定に基づいたダムでの事前放流等を実施

河川カメラ161箇所、
水位計166箇所整備済

■ 水害リスク情報提供のため県中小河川の洪水予測システム構築に着手

- ・県内の中小河川の洪水浸水想定区域図作成に併せ、洪水予測システムの構築に着手(6月補正予算)

■ 防災情報ポータルサイトの構築に着手

- ・県民に避難に必要となる様々な防災情報をわかりやすく、提供できるポータルサイトの構築に着手(6月補正予算)



事前伐採等による倒木対策の推進

出水期に向け対策を加速

■ 倒木被害防災・減災対策連絡会を設立(5/16)、倒木被害の防災・減災対策を開始

- ・ 県・市町村・森林組合・ライフライン事業者と検討を開始
孤立発生・停電・通信障害を防ぐ事前伐採(鳥取市佐治町など20箇所程度)・林道や河川等の緊急撤去等対応(鳥取市用瀬町赤波等)の実施を検討
- ・ 事前伐採実施候補箇所について5・6月に現地調査し、7月以降緊急性の高い箇所から順次伐採開始

鳥取県のDXチャレンジ

全国自治体

DX

推進度ランキング2023

愛知県、東京都に次いで

鳥取県が**第3位**に

時事総合研究所による都道府県ランキング(5/19発表)

「バーチャルとっとり」の構築! ※6月補正予算(30百万円)

➤県外にいる若者がデジタル環境でとっとりに関わることができる

メタバースを活用した若者の新しいコミュニティサイトを提供

内容:バーチャル同窓会、県内就職相談会、
移住説明会、関西・東京等若者交流会 等



※バーチャルとっとりイメージ

第112回近畿ブロック知事会議(5/25) ~5年ぶりの鳥取県開催!~

- 喫緊の課題である、「**中山間地域での生活環境（買物・医療・交通）の維持確保**」や「**府県民の政治参加の促進**」を本県から議題として提案
- G7サミットの成果の継承や2025年関西・大阪万博での更なる連携を誓う「**鳥取白うさぎ宣言**」を今回採択予定
- 白兔神社で2025年関西・大阪万博成功祈願、「鳥取砂丘コナン空港」視察

5月25日(木) 14:50~16:20 鳥取県立福祉人材研修センター

4年ぶり開催! 皆生・大山SEA TO SUMMIT



5/27
(土)

開会式・環境シンポジウム

場所:皆生海浜公園 **地ビールフェスタin米子**で歓迎



5/28
(日)

アクティビティ(カヤック・バイク・ハイク)

日野川河口~大山山頂33.5km

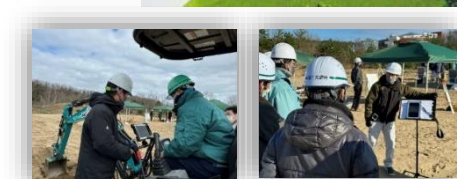
鳥取砂丘から未来へ

建設技術実証フィールド 6月補正:51百万円

建設業など県内産業の先端技術導入や人材育成に活用

- 3次元測量設計・ICT活用工事の普及促進
- 橋梁点検等のインフラメンテナンスにおける新技術導入
- DX人材の育成

⇒8月から担い手育成研修を実施



ICT活用工事技術講習会の様子(R5.2.22)



鳥大乾燥地研究センター内

月面実証フィールド 6月補正:34百万円

フィールド活用に向け、国内外にPRする活動を促進

⇒既に、大企業、スタートアップ、学生団体等から利用希望あり

★愛称を募集します★

- 応募期間
5/24(水)~6/11(日)
- 応募資格
県内外のどなたでもOK
- 応募方法
専用ウェブサイトから応募

抽選で10名様に「星取県コラボ商品」詰め合わせ(4千円相当)をプレゼント

いきいきと健康・安心に

更年期障がい相談・医療提供体制の構築 6月補正:22百万円

更年期のつらい症状を抱える方をきめ細かくサポート

- 拠点病院を設置し、かかりつけ医と連携して適切な医療を提供
 - ・県拠点病院:鳥取大学医学部附属病院
 - ・地域拠点病院:県立中央病院、県立厚生病院、山陰労災病院
- 相談窓口も設置し、スムーズに診断・治療に繋げる
 - 相談支援センター:各拠点病院に設置(計4か所)

➔予算成立後速やかに拠点病院設置(7月上旬想定)。窓口は人材確保次第速やかに設置。



鳥取県版フレイル予防の推進 6月補正:12百万円

医師会・鳥取大学等と連携し、包括的なフレイル予防対策に着手

- 関係機関による協議会を新設し、「鳥取方式フレイル予防対策」を策定 ➔予算成立後速やかに協議会開催(7月上旬想定)
- 認知症に関する最先端医療等に関する研修会開催
- 市町村が行う普及啓発への支援など